



左から参加して下さった矢田さん、南目さん、古屋さん



岩国では瀬戸内の新鮮な魚がおすすめ



ゆるやかな階段なので急勾配も平気



大勢の観光客で賑わっていました

第3弾

橋の織りなす絶景をめぐる旅に出ませんか？
橋めぐりの旅
 優美な橋と歴史ある町並みをめぐる旅

錦帯橋

五連の日本三名橋

今年の旅行企画は「橋めぐりの旅」。第三弾は11月19日から1泊2日で、「錦帯橋」に行ってきました。今回、抽選により参加して下さったのは、南目恵子さん、古屋美佐子さん、矢田光恵さんの3名さまです。

出発時は小雨で天候が不安でしたが、目的地の山口県岩国市に到着する頃には青空も見え始めて一安心。日本三名橋のひとつ「錦帯橋」は、岩国藩の藩主吉川広嘉により、今から約250年前につくられた木造橋です。暴れ川である錦川に「流されない橋をつくりたい」と、独自に発展した橋梁技術を駆使して架けられました。

長い歴史の中、洪水で流出したこともありましたがその都度、市民の熱意によって再建されてきました。現在の橋は「平成の架け替え」により、2004年に生まれ変わったものです。最近ほ他に類を見ない五連の構造から、世界遺産登録に向けた活動にも取り組まれています。

「すばらしい錦帯橋に日常を忘れる思い出ができました」と感動される南目さん。その優雅な橋の姿に、皆さまもすっかり魅了されておられました。

ENERGY NEWS エナジーニュース

冬場の給湯器の凍結防止について

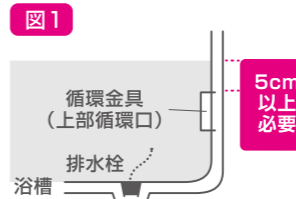
予防法①

凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法

- 気温が0℃近くになると給湯器内蔵の凍結予防ヒータが自動的に作動して機器内を保温し、凍結を予防します。(注1)
- 多機能給湯器の循環配管を凍結予防するためには、浴槽の残り湯を循環口上部より5cm以上ある状態にして下さい(図1)。外気温を感知して自動的に機器内のポンプが浴槽内の水を循環させて凍結を防止します。(注2)

注1: 電源プラグがコンセントに差し込まれていないとヒータ等が作動しません。

注2: 水がないとポンプが空運転し、大きな音が発生する場合があります。

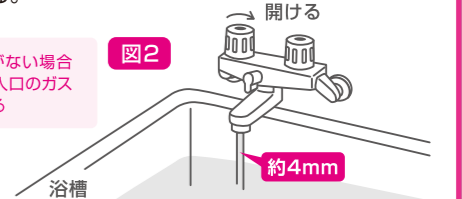


予防法②

お湯の蛇口から水を流す方法

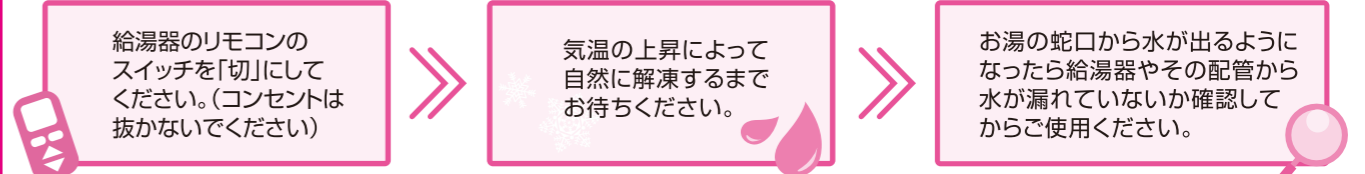
- 1 リモコンの運転スイッチを「切」にする。(注3)
- 2 お風呂の給湯栓を開いて1分間に約400ccの水を流したままにしておく(図2)。サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置で水を流す。
- 3 念のため、30分後位にもう一度水の流れる量を確認する。

注3: リモコンがない場合は給湯器入口のガス栓を閉める



凍結による破損は保証期間内であっても有償修理となりますので、凍結の恐れがある時には、上記の措置をお願いします。

給湯器が凍結してしまったら...



給水・給湯配管にお湯をかけて解凍する方法は、場合によっては配管やバルブの破損の原因となりますので、あまりおすすめいたしません。どうしてもすぐにお湯を使いたい場合は人肌程度(30℃~40℃)のぬるま湯またはドライヤーをご使用ください。

Present 読者プレゼント

広島ガスエナジーから読者の皆さまに抽選でプレゼント!!
 たくさんのご応募お待ちしております!!

「どこかで だれかが ねむくなる」

5名様プレゼント

- お申込み方法/官製ハガキにご住所、氏名、年齢、TELをご記入の上、〒692-0023 安来市黒井田町731 広島ガスエナジー(株)「ラブ・ファミリー」プレゼント係まで
- 締切/平成29年2月8日(水)必着抽選後、発送させていただきます。抽選結果は次号(Vol.173春号)にて掲載させていただきます。

Vol.171・秋号プレゼント当選者発表

多数のご応募ありがとうございました。今回、見事当選された方は、

★安井 由香さん(安来市)	★山崎 みはるさん(安来市)
★神田 美代子さん(米子市)	★松浦 久美子さん(出雲市)
★山根 みどりさん(出雲市)	

でした。おめでとうございます。

参加者募集

雰囲気のある空間で至福のひとときを

「特別ディナーへご招待」

第1弾 美保館

美保関の老舗割烹旅館で蟹尽くしを満喫します。

5名様ご招待

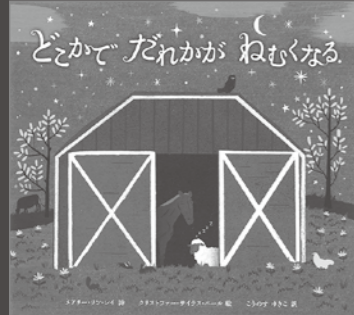
- 日時/平成29年2月18日(土)※日帰りになります。
 - 現地までの交通費及び交通手段は当方で負担致します。詳しくは当選者に直接ご案内致します。
 - 募集人員/5名様(当選者ご本人に限ります)
 - お申込み方法/官製ハガキにご住所、氏名、年齢、TELをご記入の上、〒692-0023 安来市黒井田町731 広島ガスエナジー(株)「ラブ・ファミリー」係まで
 - 締切/平成29年2月8日(水)必着
- ※申込み多数の場合は、抽選の上決定し、ご本人に通知します。
 お問い合わせは広島ガスエナジー安来営業所(0854)22-3632まで

太陽光発電のことなら広島ガスエナジーへ!

こどものための

絵本のせかい

この「絵本のせかい」では、世界中の心あたたまるお話をご紹介します。絵本は、お子さんの心を育む純粋な「栄養」であり、同時に親子のコミュニケーションツールでもあるのです。「絵本」を通して、親子で新しい発見をしてみてください。



どこかで ビーバー こえだの
ベッドをつくる



もりの きは もう すやすや
のうさぎは くっつきあって ぬくぬく



【この本のご紹介者】
すえむね たつひこ
末宗 辰彦さん

児童図書を中心に扱う出版社である「古今社」および「山陰こどものとも社」の代表取締役であり、他にも「子どもの文化講座」主宰、日本国際児童図書評議会（JBBY）正会員など、児童文化分野において幅広い活動をされている、エネルギッシュで情熱的でとてもあたたかな社長さんです。

「さあ、おやすみの時間よ」ふたりの子どもに妻が声をかけると、争うように本棚に駆け込んで2〜3冊の絵本を両手に持ち、寝床に滑り込んでいた息子たちは、それぞれ3人の子持ち人になっていきます。幼子が日中、思う存分に遊んで、寝る前、布団の中でママが語る絵本を聴きながら、静かに眠りに就く子どもの姿は、家庭にとってこの上なく最高の幸せだと思うのです。

ところが、今、映像メディア漬けによる「睡眠障害」や「慢性疲労」の子どもが増加し続けているのです。眠りは食・運動と共に、心身における健康の三大要素です。幼い子どもたちを安らかに眠りへと誘いたいものです。

「どこかで だれかが ねむくなる」この絵本は現代人が忘れてきている眠りの豊かさを思い起こさせてくれます。美しく静寂で澄みきった夜のとほ口で、八子がバラの寝床へ、ビーバーが小枝のベッドを作り、くまが丸木のベッドにもぐる。ねずみたちは地中にベッドをかくし、こぎつねたちはかあさんの巣に帰る。日はとっぴり暮れて夜が来る。森の木はもう、すやすや。のうさぎはくっつきあって、ぬくぬく。小川の魚たちも眠る。本のおはなしも眠る。……おやすみ おやすみ かわいい あなた。

※本号でご紹介している図書は「古今社」でも直接販売をされています。
詳しいお問い合わせは **(0859) 27-1390 (有) 古今社**まで

岩国城から一望する錦帯橋

世界的にも唯一といえる構造の錦帯橋を堪能するならば、まず錦川の岸に下りて全景を眺めるのがおすすです。川辺からは橋の裏側も見られ、昔ながらの木組み工法のすばらしさを実感できました。

錦帯橋は思ったより幅が広く歩きやすいよう、ゆるい階段も付けられています。周囲の景観を楽しみながら、のんびりと渡った先には岩国城や風光明媚な公園などが点在し、大人から子どもまで楽しめるエリアとなっています。

まず、見つけたのは100種類のソフトクリーム店。観光客に大人気で行列ができていました。

全国でも珍しい「岩国シロヘビの館」もあります。岩国だけに集中して生息する「岩国のシロヘビ」は、貴重な生き物として国の天然記念物に指定されています。皆さま、恐る恐る。それでも興味深そうに、生きているシロヘビを見学されました。



金運、財運をもたらすと伝わるシロヘビ



日本一を誇り、現在160種類以上



岩国城の天守閣から眼下に臨む錦帯橋

鮮やかな紅葉と郷土料理

次に、ロープウエーで岩国城を目指しました。お城は桃山風南蛮造りで、各階には日本刀や槍などが展示されています。また、天守閣からは錦帯橋をはじめ、悠々と流れる錦川や岩国市を見渡すことができ、眼下に広がる景色を楽しんでいただきました。

今回の旅行は、ちょうど紅葉のシーズン。錦帯橋を渡って、徒歩15分ほどの紅葉谷公園へも行きました。古くは寺院が集まっていた場所、公園内には枯山水の庭園がある永興寺など、見所がたくさんあります。その名前の通り、色づいたカエデで真っ赤に染まった公園は、息を呑むほどの素晴らしさでした。

「紅葉谷公園の目に映える鮮やかさ、落ち葉の美しさが今でも浮かんできます」と矢田さんは旅行後の感想を寄せてくださいました。

おいしい郷土料理も思い出のひとつです。初日の昼食は、店内の窓から錦帯橋を眺めら



具材が重なり見た目も華やかな「岩国寿司」



郷土料理の会席で乾杯! おいしい思い出

れる和食処「平清」の岩国寿司御膳を予約。岩国寿司とは地元名産のレンコンや瀬戸内の魚を使い、何段も積み重ねた押し寿司で、岩国城主が好んで食べたことから別名「殿様寿司」とも呼ばれています。

また、夕食はJR岩国駅に近い「料理百景 花善」で、瀬戸内の新鮮な魚を中心にした会席料理を召し上がっていただきました。日本酒ファンの間で話題になっている、岩国の地酒「獺祭」で乾杯も。喉を潤すほどに会話弾み、次回の企画のアイデアを沢山いただきました。

「和食三昧でおいしさに舌鼓を打ち、据え膳上げ膳で大変嬉しかったです」と古屋さん。これからも、楽しい企画をお届けできるように頑張ります。ありがとうございました。